

平成 27 年 度 事 業 報 告 書

自 平成27年 4 月 1 日

至 平成28年 3 月31日

目 次

I. 一般概要	1
II. 事務報告	2
1. 基本財産	2
2. 評議員等	2
(1) 評議員	2
(2) 役員	2
(3) アドバイザー	2
3. 会 議	2
(1) 評議員会の開催	2
(2) 理事会の開催	3
(3) アドバイザリー会議の開催	3
4. 規程の制定および一部改正	4
(1) 規程の制定および一部改正	4
5. 事務局機構	4
6. 届出・登記事項	4
III. 事業報告【公益目的事業】	5
1. 普及および振興	5
(1) 基礎的条件等の整備（日本財団助成事業）	5
(2) 学校スポーツとしての育成	6
(3) リレーション（2人制・3人制ゲートボール）の普及推進	7
2. 競技力の向上	7
(1) ゲートボール技能認定の実施	7
(2) 競技水準向上事業（日本財団助成事業）	8
3. 全日本選手権大会およびその他の競技会の開催	8
(1) 全国大会の開催	8
(2) 地域選手権大会の主催と都道府県大会への支援	10
4. 国民体育大会	11
(1) 公開競技の実施	11
(2) 公開競技の開催準備	12
(3) 正式競技種目採択のための活動	12

5. 国際的競技会の開催と代表チームの選考および派遣、外国チームの招聘	12
(1) 海外派遣事業（日本財団助成事業）.....	12
(2) 国際大会への日本チーム、国際審判員の派遣協力（日本財団助成事業）.....	13
6. 競技規則に関すること	13
7. 指導者の養成	13
(1) 指導者の育成（日本財団助成事業）.....	13
(2) 公認指導者の養成.....	14
(3) 公認指導者による活動の促進支援.....	15
8. 審判員の養成および認定	15
(1) 審判研修会の開催（日本財団助成事業）.....	15
(2) 審判員資格試験の実施.....	16
(3) 審判員資格の登録と登録更新の実施.....	16
(4) 永年審判員登録者数.....	17
(5) 国際審判員資格試験の実施.....	17
9. ゲートボール器具・用具の研究開発および認定	22
10. ゲートボールに関する刊行物の発行	22
11. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	22
(1) 功労者等の表彰.....	22
(2) 各種大会への協力.....	22
(3) 調査・科学的研究の推進および事故防止.....	23
(4) 広報事業.....	25
(5) 会員データシステムの構築・整備.....	26
(6) 寄付金・賛助金および協賛企業等の募集.....	26
【参考：各種名簿】	28
別表第1 評議員：任期4年（7名以上10名以内）.....	28
別表第2 理事：任期2年（7名以上10名以内）.....	28
別表第3 監事：任期2年（2名以内）.....	28
別表第4 アドバイザー.....	29
別表第5 事務局組織図.....	29
【平成27年度事業報告における附属明細書】	30

I. 一般概要

公益財団法人日本ゲートボール連合（日本連合）では、国内外におけるゲートボールの普及を通じて世代や地域を超えたコミュニケーションの促進を図り、国民の心身の健全な発達、明るい国民生活の形成、活力ある社会の実現および国際社会の調和に寄与することを目的に、多様な事業を積極的に展開しているところである。

平成27年度は「スポーツ庁」が設置されるとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、平成23年に50年ぶりに改正された「スポーツ基本法」に沿ってゲートボールの統括団体としてコンプライアンス（法令その他社会的責任およびモラルの厳守）の充実に努めつつ、各種全国大会の開催、公認審判員の養成、都道府県加盟団体の組織強化等の事業を継続して実施したほか、新規愛好者の拡大と世代間交流の促進を図るためジュニア層を対象とした普及事業や指導者の育成・活性化を促進する事業、国際交流事業等を実施した。

また、平成27年度からゲートボールは国民体育大会の公開競技として参加したが、今後も、念願である正式競技種目採用を目指す。

各事業の詳細については、「Ⅲ. 事業報告【公益目的事業】」に記載した。

なお、各事業の実施にあたり、日本連合は都道府県加盟団体をはじめ、関係行政機関、関係団体と協調してしているが、特に、日本財団をつうじて貴重なボートレースの収益金の支援いただいているほか、日本スポーツ振興センター、スポーツ安全協会の支援をいただき、公益財団法人として社会貢献活動につながる各種普及事業を実施した。

II. 事務報告

1. 基本財産

平成28年3月31日現在の基本財産は1億円である。

※財務諸表では債券が時価評価となり、期末の基本財産は、103,338,000円となっている。

2. 評議員等

(1) 評議員

日本連合の評議員は7名以上10名以内である。平成28年3月31日現在の評議員は、評議員名簿（別表第1）のとおり9名で、平成27年度における評議員の異動はなかった。

(2) 役員

日本連合の理事は7名以上10名以内、監事は2名以内である。平成28年3月31日現在の役員は、理事名簿（別表第2）のとおり理事9名、監事名簿（別表第3）のとおり監事2名で、平成27年度における理事・監事の異動はなかった。

なお、現役員の任期は、平成27年度収支決算に関する評議員会終結の時までである。

(3) アドバイザー

日本連合のアドバイザーは50名以内である。平成28年3月31日現在のアドバイザーは、アドバイザー名簿（別表第4）のとおり49名で、平成27年度におけるアドバイザーの異動は下記のとおりであった。

加盟団体名	変更前	変更後
(特非)東京ゲートボール連合	小林茂量	高橋純一
奈良県ゲートボール協会	辻本環	辻本隼夫
島根県ゲートボール協会	梶田郁宗	本田恭一
愛媛県ゲートボール連合	豊田義登	徳永和夫
高知県ゲートボール協会	山内高	中村正孝
福岡県ゲートボール連合	月岡美次郎	竹中五郎

3. 会議

日本連合の事業遂行のため、評議員会、理事会およびアドバイザー会議を以下のとおり開催し、事業遂行の重要案件を審議した。

(1) 評議員会の開催

1) 平成27年度定時評議員会

- ① 開催日時：平成27年6月19日（金）11:00～11:55
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館

- ③ 出欠者：出席評議員8名、欠席評議員1名、出席監事2名
- ④ 審議事項
第1号議案 平成26年度事業報告ならびに財務諸表の承認に関する件

(2) 理事会の開催

1) 第10回理事会

- ① 開催日時：平成27年6月3日（水）11:00～11:50
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席理事9名、欠席理事0名、出席監事2名
- ④ 審議事項
第1号議案 平成26年度事業報告ならびに財務諸表に関する件
第2号議案 規程の一部改正について
第3号議案 平成27年度定時評議員会の開催に関する件
第4号議案 平成28年度日本財団等への助成金の申請に関する件

2) 第11回理事会

- ① 開催日時：平成28年3月4日（金）11:00～11:30
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：出席理事9名、欠席理事0名、出席監事2名
- ④ 審議事項
第1号議案 平成27年度収支予算の一部補正に関する件
第2号議案 平成28年度事業計画ならびに収支予算に関する件
第3号議案 規程の制定および改正に関する件

(3) アドバイザリー会議の開催

都道府県加盟団体に1名、学識として2名のアドバイザーを委嘱し、日本連合の今後の事業展開、加盟団体相互の情報交換を目的にアドバイザリー会議を開催し、参加者との活発な情報交換による円滑な事業運営を図った。

1) 第3回アドバイザリー会議

- ① 開催日時：平成28年3月8日（火）13:00～15:30
- ② 開催場所：東京都港区 笹川記念会館
- ③ 出欠者：本人出席31名、代理出席2名、欠席16名
- ④ 報告事項
 - a. 第11回理事会について
 - b. JGU認定審判員事業について
 - c. 専門委員会の設置について
- ⑤ 意見交換会

4. 規程の制定および一部改正

「行政手続における特定の個人を識別するための番号利用等に関する法律」（通称：マイナンバー法）への対応ならびに日本連合の今後の事業運営上に関する規程を制定・改正した。

(1) 規程の制定および一部改正

- 1) 制定した規程（3規程）
 - ジュニア・ユース世代に対する審判員登録料の免除に関する規程
 - 特定個人情報保護に関する基本方針
 - 特定個人情報取扱規程
- 2) 改正した規程（5規程）
 - 文書管理規程
 - 経理規程
 - ゲートボール大会開催規程
 - 職員就業規則
 - 個人情報保護規程

5. 事務局機構

平成28年3月31日現在の事務局機構は、別表第5のとおり2部4課であり、職員11名である。

6. 届出・登記事項

- ① 内閣府への届出
 - 事業計画、事業報告等 4件
- ② 日本体育協会への届出
 - 事業計画、事業報告等 2件
- ③ 日本レクリエーション協会への届出
 - 事業計画、事業報告等 2件

III. 事業報告【公益目的事業】

1. 普及および振興

(1) 基礎的条件等の整備（日本財団助成事業）

加盟団体の組織強化や相互理解の促進を図りながら、指導体制の拡充、競技水準の向上、加盟団体の財務強化、情報伝達や広報手段の促進など、新たな愛好者の拡大を図るため、大学教授やスポーツ産業の事業者など関係者の協力を仰ぎ、ゲートボール界が更に発展するための基礎となる諸条件の整備を行った。

1) 指導内容等のプログラミング・開発

課 題	実 施 内 容
カテゴリ別指導法	① 小学生向け「レッツ・トライ・ゲートボール（下敷き）」の作製・配布
	② 教本「審判員テキスト」の執筆・編集 (協力者) 立教大学／早稲田大学／REGISTA有限責任事業組合
広報・IT強化	① 過去に収録した全国大会の試合映像（60試合）のアーカイブ化とネット公開
	② 加盟団体ブログの設置／10加盟団体 岩手・宮城・神奈川・和歌山・島根・愛媛・福岡・長崎・熊本・鹿児島
イメージアップ戦略	① 新規協賛企業に対する普及販促品の制作

2) 加盟団体の支援・組織体制の強化

各種普及事業の実施や組織運営等について、加盟団体が抱える諸問題解決に向けて実情調査や意見収集、今後の対応について検討会議を行った。

① 地域連絡会議の実施

（東北・北関東・南関東・北信越・近畿・中国・四国・九州）

3) 加盟団体マネジメントセミナーの開催

加盟団体事務関係者を一堂に集め、日本連合の次年度の諸事業への理解促進、業務効率の向上、ゲートボールに関する情報発信等について、日本連合と加盟団体担当者との情報共有、意見交換等を行い、相互理解の促進と組織強化を図った。

特に、加盟団体からの情報発信については、その必要性をアピールするとともに加盟団体独自のブログの更新および新規開設の支援を行った。

① 期 日：平成28年2月15日（月）・16日（火）

② 会 場：東京都港区 品川プリンスホテル

③ 参 加 者：加盟団体役職員 66名

④ 内 容：〔講演：インターネットを活用した情報発信〕

山田 泰久 特定非営利活動法人CANPANセンター 代表理事

〔加盟団体意見交換〕

(2) 学校スポーツとしての育成

国民体育大会正式競技種目参加のため、また、本来の全世代型スポーツを目指すためには愛好者の底辺拡大、全国高等学校体育連盟への加盟が不可欠であることから、中学校・高等学校でのゲートボール活動を支援し、ジュニア世代の育成を図る一方、ジュニア世代卒業後の受け皿として、全国ユースゲートボール連盟の活動を支援した。

1) 中学・高等学校でのゲートボール活動を支援する助成事業

全国の学校教育機関における運動部活動（クラブ・同好会）への普及および各体育連盟等への加盟を目指すべく、中学校・高等学校を対象としたゲートボール活動への助成について、14期目となる平成27年度は、新たに中学校1校、高等学校1校を支援した。

① 第14期（平成27・28・29年度）

1	君津市立亀山中学校	千葉
2	広島県立佐伯高等学校	広島

② 第13期（平成26・27・28年度）

1	帯広大谷高等学校	北海道
2	千葉県立清水高等学校	千葉
3	徳島県立池田支援学校 美馬分校	徳島
4	佐賀県立佐賀農業高等学校	佐賀
5	クラーク記念国際高等学校 熊本上通キャンパス	熊本

③ 第12期（平成25・26・27年度）

1	青森山田高等学校	青森
2	青森市立新城中学校	青森
3	秋田クラーク高等学院	秋田
4	クラーク記念国際高等学校 広島キャンパス	広島
5	クラーク記念国際高等学校 小倉キャンパス	福岡

2) 第4回全国高等学校ゲートボール選手権大会（スポーツ安全協会助成事業）

高校生へのスポーツ参加の促進および高等学校におけるゲートボール活動を通して全国高等学校体育連盟加盟に向けての更なる活性化を図るため、リレーショナー3（3人制）競技による本大会を昨年度に引き続き開催した。

① 期 日：平成27年12月12日（土）

② 開催地：山口県山口市 山口きらら博記念公園 多目的ドーム

③ 主 管：山口県ゲートボール協会

④ 参加数：15校（68名）

⑤ 成 績

順 位	学 校 名	加盟団体
優 勝	広島工業大学高等学校	広 島
準優勝	作新学院高等学校	栃 木
第 3 位	広島県立大竹高等学校	広 島

(3) リレーション（2人制・3人制ゲートボール）の普及推進

リレーションー2、リレーションー3は、少人数でチームを編成し、運動量豊富でスピーディーなゲームが展開できることから、ミドル層やジュニア層を中心に幅広い世代に支持されるようになり、各地域での競技会開催も定着してきた。

日本連合では高等学校選手権大会で採用し、全国大会等も視野に入れて普及に努めた。

2. 競技力の向上

(1) ゲートボール技能認定の実施

競技力を向上させるための事業の一環として、平成20年度より導入したゲートボール技能認定事業を継続的に実施した。平成27年度は、1加盟団体で実施し、62名が技能保持者として登録した。

1) 加盟団体別の技能認定登録者

加盟団体	受験者数	登録者数			登録者計	加盟団体	受験者数	登録者数			登録者計
		1級	2級	3級				1級	2級	3級	
北海道					72	滋賀					8
青森					0	京都					274
岩手	62	2	17	43	879	大阪					0
宮城					126	兵庫					439
秋田					7	奈良					15
山形					66	和歌山					14
福島					83	鳥取					0
茨城					21	島根					0
栃木					25	岡山					0
群馬					0	広島					0
埼玉					69	山口					0
千葉					32	徳島					14
東京					85	香川					10
神奈川					39	愛媛					12
新潟					531	高知					0
富山					6	福岡					148
石川					0	佐賀					79
福井					38	長崎					31
山梨					0	熊本					43
長野					254	大分					19
岐阜					62	宮崎					19
静岡					50	鹿児島					30
愛知					0	沖縄					25
三重					53	計	62	2	17	43	3,678

(2) 競技水準向上事業（日本財団助成事業）

サッカーや野球などのメジャースポーツと同様に、競技スポーツとして新しいゲートボールを確立するため、第31回全日本ゲートボール選手権大会（広島開催）の全119試合を映像収録し、独自開発したゲートボール専用の分析ソフトを活用して、すべての選手のプレーやチーム戦術等のデータ分析を行った。

また、試験的に専用サイト「ゲートボールTV」を立ち上げ、全試合結果の速報と収集した全試合の動画をネット上で公開し、誰もが、いつでも視聴できる環境整備を行った。

3. 全日本選手権大会およびその他の競技会の開催

(1) 全国大会の開催

1) 文部科学大臣杯 第31回全日本ゲートボール選手権大会

（スポーツ振興基金助成事業）

- ① 期 日：平成27年10月24日（土）・25日（日）
- ② 開催地：広島県広島市 広島広域公園 第一球技場
- ③ 主 管：広島県ゲートボール連合
- ④ 参加チーム：48チーム（297名）
- ⑤ 成 績

順位	チーム名	加盟団体
優 勝	萬燈組	愛 知
準優勝	小松島	徳 島
第 3 位	群馬Gリーグ	群 馬
	フェニックス京都	京 都

※年齢・性別不問

2) 笹川良一杯 第30回全国選抜ゲートボール大会（日本財団助成事業）

- ① 期 日：平成27年 5月23日（土）・24日（日）
- ② 開催地：宮城県蔵王町 蔵王町総合運動公園
- ③ 主 管：宮城県ゲートボール連盟
- ④ 参加チーム：180チーム（1,059名）
- ⑤ 成 績

シニアクラス（48チーム）			シニアレディースクラス（48チーム）		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優 勝	米五	福 井	優 勝	大分カボス	大 分
準優勝	千同あすなろ	広 島	準優勝	あかいわ	岡 山
第 3 位	ザ・小樽	北海道	第 3 位	フレンズスポーツシニア	鹿児島
	十和田	青 森		やすぎ	島 根
ミドルクラス（48チーム）			ミドルレディースクラス（36チーム）		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優 勝	大垣心友会	岐 阜	優 勝	フレンドミドルレディース	鹿児島
準優勝	笛吹和	山 梨	準優勝	能美レディース	石 川
第 3 位	千代田クラブ	東 京	第 3 位	TKE・L	新 潟
	美浜煙樹	和歌山		花組	愛 知

- ※シニアクラス・シニアレディースクラス 65歳以上の男性・女性
- ミドルクラス・ミドルレディースクラス 18歳以上65歳未満の男性・女性

3) 内閣総理大臣杯 第32回全日本世代交流ゲートボール大会 (日本財団助成事業)

- ① 期 日：平成27年8月1日(土)・2日(日)
- ② 開催地：埼玉県熊谷市 熊谷スポーツ文化公園 陸上競技場
- ③ 主 管：埼玉県ゲートボール連盟
- ④ 参加チーム：48チーム (317名)
- ⑤ 成 績

順位	チーム名	加盟団体
優勝	フレンドスポーツA	鹿児島
準優勝	群馬Gリーグ	群馬
第3位	坂下	島根
	大阪みどり	大阪
文部科学大臣賞	群馬Gリーグ	群馬

※15歳未満、15歳以上65歳未満、65歳以上の3世代の年齢の選手でチーム構成する。

4) 第20回全国ジュニアゲートボール大会 (日本財団助成事業)

- ① 期 日：平成27年8月1日(土)・2日(日)
- ② 開催地：埼玉県熊谷市 熊谷スポーツ文化公園 陸上競技場
- ③ 主 管：埼玉県ゲートボール連盟
- ④ 参加チーム：61チーム (441名)
- ⑤ 成 績

ジュニア男子1部クラス (21チーム)			ジュニア女子1部クラス (12チーム)		
順位	チーム名	加盟団体	順位	チーム名	加盟団体
優勝	出雲西高校A	島根	優勝	作新クラブ	栃木
準優勝	朝霞クラブ	埼玉	準優勝	出雲西高校女子	島根
第3位	作新学院	栃木	第3位	白樺学園女子	北海道
	出雲西高校B	島根		青森山田E	青森
ジュニア2部クラス (28チーム)			※ジュニア1部男子クラス 15歳以上18歳未満の男子 ※ジュニア1部女子クラス 15歳以上18歳未満の女子 ※ジュニア2部クラス 6歳以上15歳未満、性別不問		
順位	チーム名	加盟団体			
優勝	大垣ジュニア	岐阜			
準優勝	観音西ジュニア	広島			
第3位	黒田庄エンジェルズ	兵庫			
	久慈来内ジュニア	岩手			

5) 第17回全国社会人ゲートボール大会 (日本財団助成事業)

- ① 期 日：平成27年9月26日(土)・27日(日)
- ② 開催地：熊本県熊本市 熊本県民総合運動公園 パークドーム熊本
- ③ 主 管：熊本県ゲートボール連合
- ④ 参加チーム：30チーム (187名)
- ⑤ 成 績

順位	チーム名	加盟団体
優勝	水明荘	徳島
準優勝	京セラ	鹿児島
第3位	ジヤトコ	静岡
	スーパーキング	福井

※同一都道府県内における、同一の官公庁・企業等で職業に従事する者でチームを構成する。

(2) 地域選手権大会の主催と都道府県大会への支援

1) 地域ゲートボール選手権大会

地域愛好者のゲートボール技能向上、相互交流促進、情報交換のため、各地域において大会を開催し、ジュニア・ミドル・シニア各世代への普及促進を図った。

① 地域選手権大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
北海道	北海道	7月18日・19日	20	スマイル
東北	岩手	7月11日・12日	48	船引
北信越	石川	5月30日・31日	100	ザ・松任
北関東	栃木	9月5日・6日	64	川口安行
南関東	東京	平成28年3月12日	16	かがやき(男子の部)
			16	ウイングター-L(女子の部)
東海	三重	9月20日	32	知立ブラジル
近畿	兵庫	7月4日・5日	120	大阪みどり
中国	山口	11月20日・21日	40	広島楓
四国	高知	6月14日	48	八本松
九州	宮崎	11月7日・8日	48	北建ジーンズ

② 地域ジュニア大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
東北	岩手	7月11日・12日	12	久慈来内ジュニア

③ 地域ミドル大会・社会人大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
四国	愛媛	8月9日	20	徳島県
四国	香川	8月23日(社会人)	6	水明荘
九州	長崎	8月22日・23日	11	鹿児島たぬき

④ 地域スーパーシニア大会

地域	開催地	開催日	参加チーム数	優勝チーム
東北	岩手	9月12日・13日	30	盛岡河南
北関東	栃木	10月3日	8	高崎シニア

⑤ 第71回国民体育大会（いわて国体）地域予選大会

地域	開催地	開催日	参加 チーム数	代表
北海道	北海道	平成28年度 開催予定		
東北	岩手	7月11日・12日	5 5	青森県（男子の部） 福島県（女子の部）
北信越		平成28年度 開催予定		
北関東	栃木	10月3日	16 16	埼玉県（男子の部） 栃木県（女子の部）
南関東	東京	平成28年3月12日	16 16	山梨県（男子の部） 東京都（女子の部）
東海		平成28年度 開催予定		
近畿		平成28年度 開催予定		
中国	山口	11月20日・21日	10 10	山口県（男子の部） 岡山県（女子の部）
四国	徳島	平成28年3月13日	8 8	徳島県（男子の部） 香川県（女子の部）
九州	宮崎	11月7日・8日	16 16	福岡県（男子の部） 鹿児島県（女子の部）
岩手	開催県	6月7日	19 6	岩手県（男子の部） 岩手県（女子の部）

2) 都道府県ゲートボール大会

日本連合が主催する全国大会の都道府県予選会を支援し、競技としてのゲートボールの普及と選手の競技力の向上を図るとともに、加盟団体の全国大会に対する参加意識強化を促した。

4. 国民体育大会

日本連合ならびに加盟団体の念願だった国民体育大会参加が公開競技として実現し、各地域における予選会を開催し代表チームにより開催した。

(1) 公開競技の実施（日本財団助成事業）

第70回国民体育大会[公開競技]ゲートボール競技会

- ① 期 日：平成27年9月5日（土）・6日（日）
- ② 開催地：和歌山県高野町 高野山森林公園スポーツ広場
- ③ 参加チーム：32チーム（187名）
- ④ 成績

男子（16チーム）		女子（16チーム）	
順位	都道府県名	順位	都道府県名
第1位	岐阜県	第1位	大阪府
第2位	鹿児島県	第2位	福井県
第3位	熊本県	第3位	山梨県

※ 中学生を含まない平成12年4月1日以前に生まれた者。

※ 監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ゲートボール指導員の有資格者とする。

(2) 公開競技の開催準備

ゲートボールが公開競技として参加が確定している第71回大会以後の国民体育大会に関し、公開競技実施基準等の確認、今後の開催準備業務スケジュール等について、日本体育協会、開催地実行委員会、会場地自治体、開催地加盟団体と協議を行った。なお、国体改革第1期および第2期における国民体育大会の開催地およびゲートボール競技の会場地は以下のとおり。

	回数	開催年	開催地	会場地市町村
第1期	第71回	平成28年	岩手県	花巻市
	第72回	平成29年	愛媛県	松山市
	第73回	平成30年	福井県	若狭町
第2期	第74回	平成31年	茨城県	行方市
	第75回	平成32年	鹿児島県	指宿市
	第76回	平成33年	三重県	
	第77回	平成34年	栃木県	

(3) 正式競技種目採択のための活動

引き続き、改革第3期（第78回～）以後の正式競技種目採択に向け、加盟団体、認定用品工業会のほか、ゲートボール振興議員連盟、関係団体等の協力を仰ぎながら、国体実施競技選定調査に向けた対策と各種事業の成果をアピールするとともに、日本体育協会、都道府県体育協会への働きかけを行った。

5. 国際的競技会の開催と代表チームの選考および派遣、外国チームの招聘

(1) 海外派遣事業（日本財団助成事業）

国際交流活動の一環として世界各地の普及活動に対し、選手や国際審判員、指導員等を派遣するとともに、平成28年に韓国で開催の第7回アジアゲートボール選手権大会の円滑な運営を図るため役職員を派遣した。

さらに、これまでのホームページ等による広報活動の成果として、五大陸への普及がさらに充実した。

普及国・地域	派遣期間	事業内容	派遣人数
韓国	6月7日～11日	第7回アジアゲートボール選手権大会 会場候補地視察・事前打ち合せ	2名
韓国	10月11日～15日	第7回アジアゲートボール選手権大会 会場候補地視察・事前打ち合せ	2名
韓国	3月20日～22日	第7回アジアゲートボール選手権大会 事前打ち合せ	3名
インドネシア	3月27日～30日	インドネシアにおける ゲートボール現状視察	2名

(2) 国際大会への日本チーム、国際審判員の派遣協力（日本財団助成事業）

派遣要請のあった国際大会に日本チームおよび国際審判員の派遣協力を行い、国際親善の促進に努め、平成27年度は以下のとおり、役員、職員等を派遣した。

普及国・地域	派遣期間	事業内容	派遣人数
ブラジル・パラグアイ	7月1日～9日	第16回南米ゲートボール選手権大会出席	1名
イギリス	8月24日～29日	イギリス ゲートボール・オープン大会参加	7名
アメリカ	9月17日～22日	国際親善ゲートボール大会2015参加	12名
台湾	11月12日～16日	2015 桃園市 国際ゲートボール選手権大会参加	10名
オーストラリア	11月25日～ 12月1日	NSW州ゲートボール選手権大会参加	7名
香港	12月4日～8日	第7回アジア都市招待 ゲートボール大会参加	18名
タイ	3月2日～8日	タイ 国際ゲートボール選手権大会2016参加	28名

6. 競技規則に関すること

平成27年4月1日より改正・施行となった公式競技規則に関し、各種事業をつうじてその周知徹底を図った。

また、海外については国際大会等への派遣に際して周知を図った。

7. 指導者の養成**(1) 指導者の育成（日本財団助成事業）**

1) 全国指導者研修会の開催

普及活動の根幹を担う地域指導者の資質向上および指導者のネットワークの構築を図るため、外部講師を招いて研修会を開催した。

- ① 期 日：平成28年3月14日（月）・15日（火）
- ② 場 所：東京都港区 品川プリンスホテル
- ③ 参加者：公認スポーツ指導者ならびに加盟団体役員 58名
- ④ 内 容：〔講演：アンチ・ドーピング研修会 ～真のチャンピオンを目指して〕
小倉 昌則 公益財団法人日本ラグビー・フットボール協会 所属
〔講演：スポーツ指導者におけるリスクマネジメント〕
谷塚 哲 REGISTA有限責任事業組合 代表
〔研修：魅力あるゲートボールを目指して（グループワーキング）〕
〔意見交換：ゲートボール界の現状と各地での普及活動〕

2) 加盟団体における指導者研修会への支援

公認ゲートボール指導者を対象とした都道府県加盟団体および地域協議会が行う指導者研修会に対し支援を行った。

- ① 期 日：平成27年5月～平成28年3月
- ② 場 所：7都道府県および1地域協議会
- ③ 参加者：公認スポーツ指導者ほか 延べ634名
- ④ 内 容：指導者として必要と思われる講演等

(2) 公認指導者の養成

公認スポーツ指導者は日本体育協会が認定する資格であり、資格認定にはスポーツ一般に関する共通科目と専門科目、双方の科目を履修する必要がある。

日本連合では、専門科目の履修に関する業務を担当しており、国民体育大会参加チームの監督には公認指導者資格が必要なことから、引き続き指導者資格取得の促進を図る一方、資格取得後の資質向上と資格更新のため、義務研修（4年に1回）の受講を奨励した。

1) 専門科目および準指導員養成講習の検定試験

実施団体	開催地	実施期間	合格者
香川	香川県高松市	平成27年4月11日～4月26日	13
栃木	栃木県宇都宮市	平成27年6月12日～6月27日	17
長野	長野県松本市	平成27年6月15日～6月17日	9
北海道	北海道音更町	平成27年11月6日～11月8日	3
茨城	茨城県竜ヶ崎市	平成28年1月11日～1月17日	8
神奈川	神奈川県藤沢市	平成28年1月18日～3月2日	12
合 計			62

※ このほか、日本体育協会の委託事業として、新潟県と京都府が実施し、それぞれ25名、20名が合格している。

2) 準指導員の登録者数

平成27年度の準指導員登録更新者数は4名であった。

加盟団体	新規登録者数	登録更新数	累 計
北海道		1	1
青 森			1
栃 木			1
長 野		1	1
三 重		2	2
岡 山			7
福 岡			1
合 計	0	4	14

3) 日本体育協会公認スポーツ指導者の登録者数

平成27年度末での公認スポーツ指導者（ゲートボール）登録者数は1,221名となり、前年度1,231名から10名の減となった。

加盟団体	登録者数	加盟団体	登録者数
北海道	19	滋 賀	8
青 森	10	京 都	27

岩手	25	大阪	21
宮城	46	兵庫	13
秋田	12	奈良	5
山形	13	和歌山	17
福島	10	鳥取	2
茨城	17	島根	8
栃木	15	岡山	37
群馬	20	広島	27
埼玉	142	山口	4
千葉	46	徳島	10
東京	17	香川	27
神奈川	51	愛媛	7
新潟	110	高知	4
富山	10	福岡	10
石川	19	佐賀	2
福井	20	長崎	30
山梨	14	熊本	2
長野	239	大分	15
岐阜	23	宮崎	13
静岡	16	鹿児島	10
愛知	8	沖縄	3
三重	17	合計	1,221

(3) 公認指導者による活動の促進支援

平成26年度に引き続き、公認指導者の更なる発掘と新規愛好者拡大に向けた普及活動の活性化を図るため、ゲートボール普及活動推進事業基金を活用し、公認指導者が主体となって行う普及活動に必要な用具やポスター等の支援を実施した。

配布件数：26都道府県 137件

主な普及活動・配布先	平成26年度 件数	平成27年度 件数
・教育（児童館・小学校・中学校・高等学校・大学）	102	101
・職域（自治体・自衛隊・医療機関・福祉施設ほか）	7	8
・その他（地区初心者教室・親子教室等ほか）	66	28
合 計	175	137

8. 審判員の養成および認定

競技スポーツに必要な審判員の新規受験者・登録更新者の養成に努めた。

(1) 審判研修会の開催（日本財団助成事業）

全国大会開催の加盟団体審判員を対象に、技能と資質向上を図るため、審判実施要領や競技規則、競技会の企画・運営方法等の研修会を実施した。

1) 平成27年度「審判研修会」開催一覧表

実施団体	開催場所	実施日	参加者数
宮 城	シェルコムせんだい 蔵王町総合運動公園	平成27年 4月 7日	189名
		5月17日	243名
埼 玉	熊谷スポーツ文化公園	平成27年 7月 8日	146名
		7月22日	154名
熊 本	パークドーム熊本	平成27年 7月10日	93名
		8月31日	103名
広 島	高宮ハーモニー広場	平成27年 9月13日	113名
		9月30日	106名
山 口	山口きらら博記念公園	平成27年 8月11日	96名
		9月15日	110名
和歌山	中津公民館 秋葉多目的スポーツ施設 (近畿) 滋賀・京都・兵庫・奈良	平成27年 7月27日	27名
		8月 7日	46名
		7月～8月	74名
合 計			1,500名

(2) 審判員資格試験の実施

競技を公正かつ円滑に実施するために必要不可欠な審判員の養成と技能向上を図るため、各級の審判員資格試験を実施した。

1) 受験者数および合格者数

級	受験者	合格者	備 考
1 級	306	304	42加盟団体で実施
2 級	677	657	43加盟団体で実施
3 級	2,589	2,588	47加盟団体で実施
合計	3,572	3,549	

※詳細は「審判員資格試験実施結果一覧表」(18ページ) 参照

(3) 審判員資格の登録と登録更新の実施

審判員の維持・管理、技能向上のため、加盟団体の協力を得て、各級の登録や審判員資格更新講習会を実施した。

また、85歳以上の審判員を対象とした永年審判員の登録を実施した。

なお、平成27年度の新規登録者数は3,552名、登録更新者数は31,609名となった。

1) 新規登録者数および登録更新者数

級	新規登録者	登録更新者	合 計
1 級	317	5,124	5,441
2 級	650	4,953	5,603
3 級	2,585	21,532	24,117
合計	3,552	31,609	35,161

※詳細は「審判員新規登録者数・登録更新者数一覧表」(19ページ) 参照

(4) 永年審判員登録者数

	1 級	2 級	3 級	合 計
新規登録者	6	1	2	9

※永年審判員の登録者数は「永年審判員級別一覧表」(21ページ)参照

(5) 国際審判員資格試験の実施

国際大会に必要な国際審判員を養成するため、国際審判員に関する資格試験・登録・登録更新を実施した。

1) 国際審判員登録者数一覧表(日本国内) ※平成27年度に登録完了した者

加盟団体	受験者数	合格者数	新規登録者数	登録更新者数	累計
埼 玉					1
千 葉				7	12
東 京				16	28
神 奈 川				4	12
新 潟	1	1	1		53
富 山					2
福 井					5
長 野					6
滋 賀					2
和 歌 山					1
岡 山					2
広 島					6
徳 島					6
香 川					6
福 岡				3	3
佐 賀				1	1
長 崎				2	2
熊 本				1	1
鹿 児 島				2	2
合 計	1	1	1	36	151

審判員資格試験実施結果一覧表

平成28年3月31日

項目 加盟団体	1 級			2 級			3 級	
	新規受験者数	再受験者数	合格者数	新規受験者数	再受験者数	合格者数	新規受験者数	合格者数
北海道	8		8	12		12	38	38
青森	2		2	10		10	26	26
岩手	8		8	7		6	55	55
宮城	8		8	9		8	58	58
秋田	4		4	6		6	14	14
山形							19	19
福島				45		38	121	121
茨城	1		1	5		5	80	80
栃木	6		6	12		12	34	34
群馬	15		15	12		12	42	42
埼玉	6		6	22		22	89	89
千葉	3		3	5		5	35	35
東京	14		14	34		32	141	141
神奈川	15		15	14		13	121	121
新潟	27		27	48		48	152	152
富山	11		11	10		10	27	27
石川	13		13	7		7	16	16
福井	21		21	16		16	38	38
山梨	2		1	10		7	73	73
長野	20		20	37		37	154	154
岐阜	9		9	18		18	64	64
静岡	5		5	9		9	33	33
愛知	3		3	16		13	63	63
三重	5		5	17		17	37	37
滋賀	4		4	25		25	129	129
京都	7		7	20		19	55	55
大阪	17		16	32		31	104	104
兵庫	3		3	4		4	46	46
奈良	9		9	14		14	59	59
和歌山	1		1	9		9	14	14
鳥取							1	1
島根	4		4	13		13	24	24
岡山	4		4	12		12	20	20
広島	6		6	10		10	38	38
山口	8		8	7		7	12	12
徳島	2		2	17		17	147	147
香川	3		3	8		8	21	21
愛媛	4		4	11		11	52	52
高知							2	2
福岡	2		2	4		4	44	44
佐賀	9		9	26		26	66	66
長崎	4		4	17		17	67	66
熊本	3		3	37		37	4	4
大分	3		3	4		4	43	43
宮崎	1		1	5		5	8	8
鹿児島	6		6	21		21	57	57
沖縄							46	46
合計	306	0	304	677	0	657	2,589	2,588

審判員新規登録者数・登録更新者数一覧表

平成28年3月31日

項目 加盟団体	新規登録者数				登録更新者数				合計
	1級	2級	3級	小計	1級	2級	3級	小計	
北海道	8	12	38	58	170	205	518	893	951
青森	2	10	26	38	9	25	69	103	141
岩手	8	6	55	69	115	151	698	964	1,033
宮城	8	8	58	74	113	65	293	471	545
秋田	4	6	14	24	24	12	137	173	197
山形			19	19	78	46	234	358	377
福島		37	118	155	129	79	799	1,007	1,162
茨城	21	16	80	117	73	76	369	518	635
栃木	6	12	34	52	96	56	324	476	528
群馬	15	12	42	69	87	48	176	311	380
埼玉	6	22	89	117	190	83	796	1,069	1,186
千葉	3	5	35	43	111	74	288	473	516
東京	14	32	141	187	122	116	665	903	1,090
神奈川	15	13	121	149	144	162	856	1,162	1,311
新潟	19	31	152	202	208	196	1,312	1,716	1,918
富山	11	10	27	48	96	118	310	524	572
石川	13	7	16	36	71	44	74	189	225
福井	21	16	38	75	130	175	365	670	745
山梨	1	7	73	81	83	129	794	1,006	1,087
長野	20	37	154	211	357	259	1,059	1,675	1,886
岐阜	9	18	64	91	164	195	523	882	973
静岡	5	9	33	47	152	110	314	576	623
愛知	3	13	63	79	147	118	618	883	962
三重	5	17	37	59	83	78	415	576	635
滋賀	4	25	129	158	102	166	787	1,055	1,213
京都	7	19	55	81	155	161	600	916	997
大阪	16	31	104	151	368	415	1,534	2,317	2,468
兵庫	4	4	46	54	187	154	436	777	831
奈良	9	14	59	82	145	88	308	541	623
和歌山	1	9	14	24	7	52	228	287	311
鳥取			1	1	38	35	51	124	125
島根	4	13	24	41	135	139	643	917	958
岡山	4	12	20	36	77	79	321	477	513
広島	6	10	38	54	149	102	414	665	719
山口	8	7	12	27	31	37	99	167	194
徳島	2	17	147	166	46	41	170	257	423
香川	3	8	21	32	76	83	244	403	435
愛媛	4	11	52	67	67	35	241	343	410
高知			2	2	19	11	29	59	61
福岡	2	4	44	50	71	61	268	400	450
佐賀	9	26	66	101	81	81	378	540	641
長崎	4	17	66	87	109	120	430	659	746
熊本	3	37	4	44	47	72	321	440	484
大分	3	4	43	50	57	128	561	746	796
宮崎	1	5	8	14	65	46	210	321	335
鹿児島	6	21	57	84	116	203	1,003	1,322	1,406
沖縄			46	46	24	24	250	298	344
合計	317	650	2,585	3,552	5,124	4,953	21,532	31,609	35,161

審判員級別一覧表

平成28年3月31日

加盟団体	級	1 級	2 級	3 級	合 計
北海道		346	362	1,231	1,939
青森		25	75	197	297
岩手		247	328	1,641	2,216
宮城		208	152	787	1,147
秋田		51	45	383	479
山形		223	137	462	822
福島		247	203	1,620	2,070
茨城		178	204	765	1,147
栃木		214	148	753	1,115
群馬		173	86	242	501
埼玉		465	234	1,708	2,407
千葉		203	192	660	1,055
東京都		269	248	1,590	2,107
神奈川県		338	348	1,928	2,614
新潟		515	491	2,982	3,988
富山		219	265	619	1,103
石川		152	171	208	531
福井		270	360	869	1,499
山梨		210	244	1,557	2,011
長野		815	595	2,424	3,834
岐阜		331	392	1,206	1,929
静岡		250	228	846	1,324
愛知県		319	284	1,411	2,014
三重		165	214	932	1,311
滋賀		233	399	1,880	2,512
京都		336	364	1,351	2,051
大阪		384	428	1,762	2,574
兵庫		235	275	836	1,346
奈良		252	167	789	1,208
和歌山		113	144	467	724
鳥取		90	59	137	286
島根		253	241	1,324	1,818
岡山		202	168	805	1,175
広島		327	267	995	1,589
山口		66	84	197	347
徳島		110	125	640	875
香川		189	157	585	931
愛媛		110	73	548	731
高知		32	22	66	120
福岡		170	173	659	1,002
佐賀		153	165	969	1,287
長崎		249	239	986	1,474
熊本		84	214	571	869
大分		133	226	1,256	1,615
宮崎		130	108	446	684
鹿児島		276	323	2,295	2,894
沖縄		46	46	572	664
合 計		10,606	10,473	47,157	68,236

永年審判員級別一覧表

平成28年3月31日

加盟団体	級	平成27年度 新規登録者			累 計 数			合 計
		1級	2級	3級	1級	2級	3級	
北海道				1	9	9	4	22
青森					2	2		4
岩手					6	2		8
宮城		1			16	21	26	63
秋田		2			2			2
山形					2	1		3
福島					6			6
茨城					1			1
栃木					2			2
群馬								
埼玉					2	1		3
千葉					3	2		5
東京都		1			4	6		10
神奈川県					13	4	1	18
新潟					3	1		4
富山				1			1	1
石川								
福井					1			1
山梨					1		1	2
長野					2			2
岐阜					2	5	2	9
静岡					4	2	1	7
愛知					9	1		10
三重					1	1		2
滋賀		1			9	4	2	15
京都					3	1	1	5
大阪					5	4		9
兵庫								
奈良							1	1
和歌山					1	4	5	10
鳥取								
島根								
岡山					3			3
広島					5	3	2	10
山口								
徳島					1		2	3
香川								
愛媛					7		4	11
高知					3			3
福岡						1		1
佐賀					1			1
長崎					7			7
熊本							1	1
大分								
宮崎					2	1		3
鹿児島		1	1		2	3	1	6
沖縄								
合 計		6	1	2	140	79	55	274

9. ゲートボール器具・用具の研究開発および認定

ゲートボール用具認定規程や同実施要領に準拠し、競技を公正・安全に行うことを目的とした用具の認定基準に則り、第三者機関の安全検査に合格したゲートボール用具を認定する契約を13社と締結し、認定スティックへの認定証紙（シール）の貼付、認定ボールへの刻印を認めた。

10. ゲートボールに関する刊行物の発行

公式競技規則の改正に伴い、競技規則や審判実施要領等の書籍を改訂・刊行した。また、各種の普及活動を効果的に展開するため、パンフレット等を作成・配布した。

1) ゲートボール・テキストの作成配布（スポーツ振興くじ助成事業）

本年度からの公式競技規則の改正内容を中心に、フェアプレイやアンチ・ドーピング活動等、スポーツ界が取り組んでいる重要内容についての冊子を作成し、47都道府県へ配布するとともに、誰でも活用できるようにホームページ上での公開・情報提供を行った。 作成・配布数：85,000部

11. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 功労者等の表彰

ゲートボールの普及発展に顕著な功績のあった方（ゲートボール功労者）、ゲートボールを通じて永年健康保持に努められた方（健康功労者）、10年以上審判員登録し功労のあった方（審判員功労者）を、表彰規程に基づき、加盟団体の推薦により表彰した。今年度の表彰結果は以下のとおり。

- ① ゲートボール功労賞 44名
- ② 健康功労賞 272名
- ③ 審判功労賞 240名

(2) 各種大会への協力

官公庁・行政・自治体および関係団体等が主催する大会等に協力し、更なるゲートボールの普及と生涯スポーツの振興に寄与した。

1) 加盟団体以外の団体等が主催したゲートボール大会等への後援

事業名	主催者	開催地	開催期日
平成27年度東日本高等学校ゲートボール大会	東日本高等学校ゲートボール大会実行委員会	宮城県蔵王町	6月14日
第27回さくらんぼゲートボール全国大会	さくらんぼゲートボール全国大会実行委員会	山形県東根市	6月17日～ 6月18日
第28回発祥の地杯全国ゲートボール大会	芽室町芽室町教育委員会	北海道芽室町	8月29日～ 8月30日
第28回全国健康福祉祭やまぐち大会(ねんりんピック)	ねんりんピック山口2015 山口市実行委員会ほか	山口県山口市	10月17日～ 10月19日
第3回山ノ内町観光大使杯三遊亭円楽ゲートボール大会	山ノ内町観光大使杯三遊亭円楽ゲートボール大会	長野県山ノ内町	9月29日～ 9月30日
北海道ユースゲートボール交流会/ 北海道ユース・ミドル親善大会	北海道ユースゲートボール交流会実行委員会	北海道芽室町	2月20日～ 2月21日
第24回小豆島オリーブ杯ゲートボール全国大会	小豆島オリーブ杯ゲートボール全国大会実行委員会	香川県小豆島町	2月27日～ 2月28日
第20回JLC杯スーパーゲートボール大会	株式会社 日本レジャーチャンネル	静岡県伊豆市	3月12日～ 3月13日

(3) 調査・科学的研究の推進および事故防止

1) 調査研究の実施

誰もが安全にゲートボールを楽しむことができるよう、競技会等での事故や傷病の事例を収集し、ゲートボール活動における事故防止や予防に向けた啓発に努めた。また、事故にあった会員に対し見舞金を支給した。

平成27年度の見舞金対象者は89,837名となり、前年度と比較して7,656名減少した一方、支給件数も前年比4件の減少となった。

① 年度別事故防止事業運営実績一覧

年 度	対象者数	支給件数	死 亡	入 院	通 院	見舞金支給額(円)
平成24年度	117,472	125	8	50	67	5,975,000
平成25年度	106,633	106	4	49	53	5,545,000
平成26年度	97,493	85	6	40	39	4,295,000
平成27年度	89,837	81	4	34	43	3,900,000

② 平成27年度ランク別傷病件数

傷病	Aランク			Bランク			Cランク			合 計			
	死亡	入院	通院	死亡	入院	通院	死亡	入院	通院	死亡	入院	通院	計
骨 折		13	16					9			22	16	38
挫傷・打撲		1	3						3		1	6	7
創 傷		1	7						1		1	8	9
捻挫・脱臼		1	8						3		1	11	12
心臓器障害				1	2	1	1			2	2	1	5
脳疾患	1			1	3					2	3		5
その他			1		3			1			4	1	5
合計	1	16	35	2	8	1	1	10	7	4	34	43	81

注) 本事業への登録者が、日本連合、加盟団体または加盟団体傘下の団体等が主催（共催）・主管・後援するゲートボール競技大会、およびゲートボールに関する講習会・研修会等において事故にあったときは、次のランクに基づき、見舞金を支給する。

Aランク・・・参加中に発生した傷害事故

Bランク・・・参加中に発生した日射病・熱射病、疾病（既往症）、脳疾患や心神喪失など

Cランク・・・参加のための、自宅と目的地の往復路であった事故

③ 平成27年度見舞金対象者数および事故発生状況一覧表

加盟団体	見舞金対象者数	支給件数	Aランク	Bランク	Cランク	死亡	入院	通院
北海道	840	1	1					1
青 森	511							
岩 手	3,249							
宮 城	2,932	5	2		3		3	2
秋 田	919							
山 形	1,306	1		1			1	

福島	3,308	1		1			1	
茨城	1,586							
栃木	1,992	2	2					2
群馬	1,293	3	3					3
埼玉	4,032	4	2		2		1	3
千葉	1,537	2	1	1		1		1
東京	1,285	1	1				1	
神奈川	4,177	1	1				1	
新潟	6,344	3	2	1		1		2
富山	1,482	1	1			1		
石川	580							
福井	2,158							
山梨	2,793	3	2	1			2	1
長野	4,922	3	2	1			2	1
岐阜	2,678	4	3	1			2	2
静岡	1,816	1		1				1
愛知	1,545	1	1					1
三重	1,660	1	1				1	
滋賀	3,899	2	2				1	1
京都	2,581	4	4				1	3
大阪	2,570	4	4				1	3
兵庫	2,191	9	4		5		5	4
奈良	1,049	2	1		1		2	
和歌山	851							
鳥取	352							
島根	2,439	2	2				2	
岡山	1,437	1			1	1		
広島	2,349	3	1	1	1		2	1
山口	517							
徳島	602	1	1					1
香川	860	1			1			1
愛媛	789	2	1	1			1	1
高知	34	1	1					1
福岡	1,229							
佐賀	1,576	6	3		3		2	4
長崎	1,982	1	1					1
熊本	1,833	2	1	1			1	1
大分	1,704							
宮崎	384							
鹿児島	2,218	2	1		1		1	1
沖縄	1,446							
合計	89,837	81	52	11	18	4	34	43

2) ドーピング防止活動の協力推進

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）に協力いただき、ドーピング防止活動として、アンチ・ドーピング研修会およびアウトリーチプログラム（参加型普及啓蒙活動）を実施した。

① アンチ・ドーピング研修会

期 日：平成27年9月4日（金）

場 所：和歌山県高野町 高野町中央公民館

講 師：JADA協力講師 金子恵美/日本チェアカーリング協会事務局長

参加者：72名

期 日：平成28年 3月14日(月)

場 所：東京都港区 品川プリンスホテル

講 師：JADA協力講師 小倉昌則/(公財)日本ラグビーフットボール協会

アンチ・ドーピング委員会所属

参加者：94名

② アウトリーチプログラム

期 日：平成27年 5月23日(土)～24日(日)

場 所：宮城県蔵王町 蔵王町総合運動公園

(4) 広報事業

「日本連合公式ホームページ」において国内および海外での普及活動状況を随時更新することにより、ゲートボールに関する各種の情報を国内外に発信した。

また、ゲートボール情報誌「ゲートボールNavi」を発行し、見舞金対象者に配付することにより、紙媒体での情報提供にも努めた。

さらに、テレビ、新聞等マスコミ各社に対しても、全国大会の告知のほか適宜ニュースリリース等を配信し、ゲートボールの多様な価値と役割、特に地域の活性化や高齢化社会におけるニーズ等を加盟団体と連携し地方紙にも配信し、広く社会にアピールした。

1) 通信衛星放送による普及啓蒙番組「スーパーゲートボール」の製作と放映

平成27年度も、全国大会の放映を中心に番組制作し、再放送分を加えて放映した。

① 期 間 平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

② 制作配信 株式会社日本レジャーチャンネル

③ 配信方法

a. スカイパーフェクTV! 680ch

b. ケーブルテレビ165局(平成28年 3月31日現在)

④ 放送回数 104回(毎週土曜日・日曜日 6:00～6:55)

2) 情報誌発行事業(スポーツ振興くじ助成事業)

ゲートボール情報誌を発行し、ホームページを閲覧する環境にない会員にも広く情報を提供するとともに、日本連合のホームページにも掲載して自由にダウンロードできるように設定した。

① 名 称 等：ゲートボールNavi2015年号(A4版、縦、カラー、本文30ページ)

② 発 行 日：平成27年12月

③ 発 行 数：100,000部

④ 配 付 先：見舞金対象者ほか

(5) 会員データシステムの構築・整備

日本連合が管理・運用している審判員、見舞金対象者等のデータ一元化により日本連合と加盟団体の事務の効率化を図るため、「会員データシステム」の整備を進め、加盟団体の事務担当者等の意見を参考に、加盟団体と日本連合相互の事務合理化を図れるシステム構築を図った。

(6) 寄付金・賛助金および協賛企業等の募集

日本連合の諸事業の一層の充実と発展を図るため、寄付金・賛助金および協賛企業等を募集した。

1) 賛助会員28社（平成28年3月31日現在）

会社名	所在地
株式会社ニチヨー	栃木県足利市堀込町2541
株式会社サンシャインスポーツ	長野県松本市島内5330
株式会社サン	新潟県三条市下須頃5-1
株式会社ワールドダイヤモンド	東京都世田谷区成城5-9-14
株式会社シャトル	福井県越前市家久町87-21-1
株式会社ロンウッド	富山県南砺市法林寺518
株式会社本郷	広島県廿日市市木材港北1-4
株式会社サンラッキー	大阪府大阪市東成区大今里3-12-23
株式会社ティエヌケイ	埼玉県川越市松江町1-12-8
有限会社やるき産業	熊本県熊本市南区城南町今吉野1048-2
羽立工業株式会社	静岡県湖西市新所3
株式会社ウシクボ	東京都墨田区東向島6-15-7
井上工業株式会社	兵庫県加東市上滝野1613
東武トップツアーズ株式会社	東京都新宿区西新宿7-5-25
大日本トラベル株式会社	東京都港区新橋5-25-4
東日観光株式会社	東京都中央区築地4-7-5
名鉄観光サービス株式会社	東京都品川区西五反田2-19-3
株式会社日本旅行	東京都中央区日本橋1-19-1
株式会社天賞堂	東京都中央区銀座4-3-9
株式会社かいせい	東京都港区西新橋2-15-3
株式会社恒垂印刷	東京都文京区千石2-4-5
エーアンドエー株式会社	東京都千代田区西神田3-3-5
株式会社アオイスports企画	東京都稲城市矢野口3266-1
株式会社サンワ	埼玉県戸田市新曽2002
株式会社東京ビー・エム・シー	東京都港区西新橋2-2-4
株式会社イルマックス	東京都墨田区緑2-11-2
株式会社ジェイティービー	東京都品川区東品川2-3-11
株式会社健康プラザパル	東京都中央区新川1-17-21

2) 大会協賛企業

山崎製パン株式会社	東武トップツアーズ株式会社
一般財団法人BOAT RACE振興会 (通称：BOAT RACE振興会)	株式会社シャトル
	株式会社ティエヌケイ
株式会社日本レジャーチャンネル	株式会社サンシャインスポーツ
株式会社日本旅行	株式会社ニチヨー

株式会社本郷	株式会社健康プラザパル
名鉄観光サービス株式会社	株式会社ジェイティービー
有限会社やるき産業	

3) 寄付金

平成27年度においては、2名1団体4件から総額100,000円の寄付があり、日本財団を通じた災害援助や、本連合が実施する「学校スポーツとしての育成」事業に充当した。

明細は下記のとおり。(順不同、敬称略)

○個人

鬼城栄子

青柳和枝

○団体

全国ユースゲートボール連盟

【参考：各種名簿】

別表第1 評議員：任期4年（7名以上10名以内）

平成28年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
荒木田裕子	公益財団法人日本オリンピック委員会 理事	
岡 寄 修 平	公益財団法人笹川平和財団 監事	
児 玉 義 人	鹿児島県ゲートボール協会 会長	
広 渡 英 治	公益財団法人日本吟剣詩舞振興会 専務理事	
藤 川 務	一般財団法人BOAT RACE振興会 前常務理事	
本 郷 明 義	広島県ゲートボール連合 会長	日本ゲートボール 認定用品工業会会長
三ツ谷洋子	法政大学 スポーツ健康学部 教授	
若 林 静 子	一般財団法人新潟県ゲートボール連盟 理事長	
渡 邊 一 利	公益財団法人笹川スポーツ財団 専務理事	

別表第2 理事：任期2年（7名以上10名以内）

平成28年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
小 野 清 子	公益財団法人日本ゲートボール連合 会長	代表理事
遠 藤 容 弘	公益財団法人日本ゲートボール連合 専務理事	業務執行理事
石 川 牧 子	医療法人社団RMDCC 理事	
石川恵一郎	公益財団法人全国高等学校体育連盟 専務理事	
小 池 保 夫	一般財団法人日本モーターボート競走会 会長	
小 高 幹 雄	一般財団法人BOAT RACE振興会 会長	
鈴 木 克 昌	愛知県ゲートボール連盟 会長	衆議院議員 (元蒲郡市長)
船 田 元	栃木県ゲートボール協会 会長	衆議院議員
戸 部 英 一	北海道ゲートボール連合 会長	

別表第3 監事：任期2年（2名以内）

平成28年3月31日現在

氏名	所属・役職	備考
西 本 克 己	株式会社東京ビー・エム・シー 代表取締役社長	
天 城 一	公益財団法人社会貢献支援財団 専務理事	

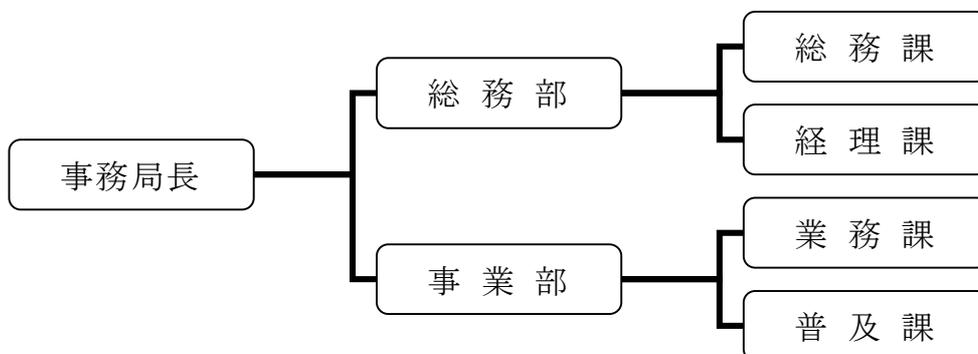
別表第4 アドバイザー

平成28年3月31日現在

氏名	所属	氏名	所属
五十嵐 隆男	北海道 G B 連合	鈴木 信久	京都府 G B 連合
久米田 勇二	青森県 G B 協会	橋本 健吾	大阪 G B 連盟
谷藤 正志	岩手県 G B 協会	田 桑 稔	兵庫県 G B 連合
佐藤 黎子	宮城県 G B 連盟	辻本 隼夫	奈良県 G B 協会
成田 成男	秋田県 G B 協会	栩野 一美	和歌山県 G B 協会
栴田 敏行	山形県 G B 協会	中村 孝太郎	鳥取県 G B 協会
石井 賢明	福島県 G B 協会	本田 恭一	島根県 G B 協会
石引 義男	茨城県 G B 連合会	瀧口 壽美男	岡山県 G B 協会
小口 孝夫	栃木県 G B 協会	政本 隆延	広島県 G B 連合
深代 栄三	群馬県 G B 協会	中田 憲明	山口県 G B 協会
元永 厚雄	埼玉県 G B 連盟	宮本 實	徳島県 G B 協会
石井 準一	千葉県 G B 連盟	川畑 省三	香川県 G B 連盟
高橋 純一	(特非)東京 G B 連合	徳永 和夫	愛媛県 G B 連合
岡田 喜久雄	神奈川県 G B 連合	中村 正孝	高知県 G B 協会
阿部 忠孝	(一財)新潟県 G B 連盟	竹中 五郎	福岡県 G B 連合
河森 敏弘	(特非)富山県 G B 協会	古賀 俊弘	佐賀県 G B 協会
安地 博	石川県 G B 協会	加藤 敏夫	長崎県 G B 協会
古崎 邦夫	福井県 G B 協会	中嶋 利秋	熊本県 G B 連合
加藤 晃夫	山梨県 G B 協会	小野 悟	大分県 G B 協会
生駒 正	長野県 G B 連盟	西村 忠喜	宮崎県 G B 協会
宮川 昭雄	岐阜県 G B 連盟	児玉 義人	鹿児島県 G B 協会
土居 征夫	静岡県 G B 協会	大城 哲夫	沖縄県 G B 連合
鈴木 克昌	愛知県 G B 連盟	三遊 亭 円楽	学 識
宮田 淳	三重県 G B 連合会	今川 啓一	学 識
山本 議照	滋賀県 G B 連盟		

別表第5 事務局組織図

平成28年3月31日現在



平成27年度事業報告における附属明細書

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。

平成28年5月

公益財団法人日本ゲートボール連合

前記のとおり相違ありません。

平成28年 5 月 19 日

公益財団法人日本ゲートボール連合

会 長 小 野 清 子

平成27年度の事業報告書を監査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

平成28年 5 月 27 日

監 事 西 本 克 己

監 事 天 城 一